「土浦保健所・竜ケ崎保健所管内　麻しん・風しん対策会議」を実施しました。

日　時：平成 30 年 11 月 7 日（水）　　14:00~16:00

場　所：土浦保健所　2 階大会議室

目　的：麻しん・風しんの国内でのまん延を防ぐために重要な定期予防接種について，その実施主体である管内市町村の関係機関が麻しん・風しんに関する正しい知識を習得し取り組みに生かせるよう，予防対策及び発生時対応について共通理解を図る。

出席者：35 名

・土浦保健所・竜ケ崎保健所管内 12 市町村（保健衛生主管課，児童福祉主管課，教育委員会等）　27 名

・土浦保健所・竜ケ崎保健所　8 名

内　容：１　麻しん・風しんの発生状況とその対応について

２　各市町村における定期予防接種率向上にかかる取り組みについて

３　講話「麻しん・風しんの予防接種の重要性と麻しん発生時の対応について」
国立感染症研究所　感染症疫学センター第三室長　多屋 馨子 氏

４　質疑応答・意見交換

結　果：

本会議では，市町村における麻しん・風しんの定期予防接種率の向上や患者発生時の対応について情報交換を行いました。各市町村からは予防接種率向上のため取り組んでいることを共有していただき，各保健所からは今年度発生した麻しん・風しんに係る対応について情報提供をしました。

国立感染症研究所　多屋 馨子 氏の講話では，予防接種の有効性，発生時の対応，麻しん・風しん対策と今すぐできること・すべきこと等，事例を交えてお話しいただき，定期予防接種及び未接種者対策，医療機関，保育期間，その他人と多く接する職業での予防接種歴・罹患歴の把握管理と必要な対策の重要性を再確認する機会となりました。

本会議の開催により市町村関係機関が麻しん・風しんへの正しい知識を持ち，定期予防接種の重要性や発生時対応について共通理解することができました。更なる接種率の向上に期待します。

会議の様子：